

授業科目 老年実践看護論 I	科目概要・形式 1 単位 15 時間 (8 コマ) 演習科目	配当年次 博士前期 1 年次 前期開講	オンライン参加 可
科目責任者	出貝 裕子		
科目担当者	出貝 裕子, 長内 志津子, 千葉 武揚, 花田 麻由美, 阿部 久美 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 健康障害を有し急性期治療を受ける高齢者に生じる特徴的な健康課題に対する予防的看護を探求する. 入院中に生じる倫理的課題や高齢者の退院支援について理解を深め, 高度実践者として求められる実践力に加え調整能力を養う. 到達目標 [1] 急性期病院における複雑かつ多様な健康障害及び生活機能障害に関する理解を基盤に, その予防的看護方法について説明できる. [2] 医療機関からの退院支援・退院調整, 継続看護について, ケアマネジメントの現状と課題を踏まえ自らの実践に必要な取組みを説明できる. [3] 老人看護 CNS として, 急性期治療を受ける患者に対する実践事例を振り返り自らの看護の深化を考察し説明できる.			
2. 授業計画・内容			
回	授業内容	担当者	
1	入院および急性期治療が高齢者に及ぼす生活機能への影響	長内	
2	入院中の疾患の重症化と老年症候群の予防, フレイル予防, 生活機能維持に向けた支援	長内	
3	患者・家族の意思を尊重した入院時から行う退院支援を推進するための調整(事例検討)	出貝・花田	
4	退院支援に関する自施設の課題分析と改善策の検討	出貝・花田	
5	クリティカルな場面や人工的水分栄養法の意味決定支援	千葉	
6	急性期病院における高齢患者のせん妄予防と老人看護 CNS としての実践	阿部	
7	急性期病院における高齢患者のリスク管理と高齢者の尊厳保持の両立①対象者のアセスメント (実践事例の検討)	阿部・出貝	
8	急性期病院における高齢患者のリスク管理と高齢者の尊厳保持の両立②調整 (実践事例の検討)	阿部・出貝	
3. 教科書・参考書 (教科書) 宇都宮宏子: 入退院支援パーフェクトガイド 看護がつなぐ「在宅ケア移行支援」の実践, メディカ出版, 2019. (参考書) 鈴木みずえ: アセスメントフローで学ぶ パーソン・センタード・ケアに基づく急性期病院の高齢者看護, 日本看護協会出版会, 2021. 川崎優子: 看護者が行う意思決定支援の技法 30-患者の真のニーズ・価値観を引き出すかわり, 医学書院, 2017.			
4. 成績評価方法 プレゼンテーション及び討議への参加状況 (40%), 課題レポート (60%) で総合的に評価する.			
5. 受講要件 なし			
6. 社会人学生に対する配慮 必要に応じて夜間・土曜日開講, オンライン参加 (ライブ) 可能			
7. その他			